

## 26 クボミテッポウエビ

(テッポウエビ科)

兵庫県ランク:B

*Chelomalpheus koreanus*

環境省ランク:指定なし

### 種の概要

東京湾、瀬戸内海及び高知県、有明海に分布する。体長15mm程度の小型種。砂泥底に生息し、アナジャコ類の巣穴で見つかる。テッポウエビ科の一種であるが、ハサミ脚は特殊化しない。同じテッポウエビ科の普通種セジロムラサキエビもアナジャコ類の巣穴で見つかることがあるが、こちらは名のとおり紫色で背中に太い白い筋が入るため、識別は容易。

### 主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
	○		○	○			○

### 県内分布

赤穂市

### 県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。現在までのところ、赤穂市で1箇所のみ記録がある。小型種であり、かつアナジャコ類の巣穴に共生するという特殊な生態のため、記録が極端に少ないと考えられる。

### 保護上の留意点

本種はその採集記録からアナジャコ類との共生が示唆されており、県内における記録もアナジャコ(その他無脊椎動物Bランク)の巣穴から得られたものであった。現在、宿主のアナジャコは県内で減少傾向にあると考えられるため、宿主の巣穴に生息場所を依存する本種は、宿主のアナジャコよりもより危機的な状況にあると考えられる。



写真提供：渡部哲也



写真提供：渡部哲也

【執筆者】 渡部哲也